

インフルエンザ・新型コロナともに増加傾向 マイコプラズマも全国比で高水準 福島県  
2024/12/11 福島中央テレビ



FCT福島中央テレビ

<https://news.yahoo.co.jp/articles/89a682e57ed861a2eb439adc7aabadc779c3e6cf>

福島県内ではインフルエンザや新型コロナウイルスの患者数が増えていて県が注意を呼びかけています。

12月8日までの1週間で県内82の医療機関から報告されたインフルエンザの患者数は、前週より286人多い810人でした。

1つの医療機関あたりでは県内全体で9.88人と5週連続で増加していて、県中で19.44人、県北で16.11人と注意報レベルの10人を超えています。

また、新型コロナウイルスの患者数は310人で、前週から11人増えました。1医療機関あたりの患者数は県内全体で3.78人と増加傾向が続いています。

一方、マイコプラズマ肺炎の1医療機関あたりの患者数は、県内全体で2.71人で減少傾向であるものの、全国的にみると高い水準で感染が確認されていることから引き続き、注意が必要です。

**【新型コロナ】平塚の特養老人ホーム、コロナ集団感染で90代の3人死亡**

12/11(水) 神奈川新聞

新型コロナウイルス感染症を巡り、神奈川県平塚市の特別養護老人ホーム「ローズヒル 東八幡」(同市東八幡)で今月に入り集団感染が発生し、90代の男女3人の利用者が11日までに死亡した。感染者は入所者96人のうち34人と、職員15人の計49人。

同施設によると、1日に最初の感染者を確認。その後、1日あたり5、6人ずつ感染が広がった。同施設を運営する社会福祉法人「つちや社会福祉会」は「集団感染対策には努めてきたつもりだが発生してしまった。再発防止に努めたい」としている。現在は収束に向かっているという。